

小学校 高 学年< 5 - (4) >

学 年	5年	時 間	家庭科 「かたづけよう身の回り」	時 期	7月	時 数	1時間（45分） 第3時／全3時間
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの整理整頓に関心を持ち、部屋の中の整理整頓をすることによって、気持ちよく過ごすことができるようにする。 ・家具等の配置や固定の工夫をすることにより、地震時の家具の転倒・落下やそれに伴う人命危険を減らせることを知り、部屋の中の整理整頓とともに家具の配置・固定の工夫をすることができるようにする。 						
資料・準備	総務省消防庁「チャレンジ防災48」の映像25「家の中の揺れの様子」、ワークシート「家ぐはいち書きこみシート」（第2時記載）、記載例（第2時に配布）、ワークシート、家具の固定の工夫資料						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	1 地震が起きたとき、どのくらい危険か想像する。 ◇ 地震が起きたときの「家の中の様子」を見ましよう。	○「チャレンジ防災48」の映像25の中の「地震で揺れる家の中のようす」（リビング、寝室、キッチン）の映像を見せる。
展 開	2 自分の家の大まかな間取りと、それぞれの部屋の家具等が置かれた様子を書き込んだワークシートをもとに、地震が起きたときのことを想像する。 ◇自分の家の大まかな間取りと、それぞれの部屋の家具等が置かれた様子、特に自分が普段生活に使っている部屋（たとえば、寝る部屋、食事する部屋、テレビを見る部屋、勉強する部屋 等）を書き込んだワークシートをもとに考えてみましょう。 ◇家にいるときに地震に遭った場合、どのような危険があるか、気づいたことを ふせん（メモ）に書き出しましょう。 ◇整理整頓したり家具の配置を替えたりすると、どのように自分の身を守れるか、また、どのように家具を固定すればいいか考え、班で話し合ってみましょう。 ◇話しあったことを発表しましょう。	○前時に記載させ、家に持ち帰り確認しておかせた書き込み用ワークシート（書き込み例を同時配布）をもとにして、特に自分が生活に使っている部屋について家具等の様子を再度確認させる。 ○家具の大きい物ばかりでなく、置いてある物や家具等に乘せてある物などの様子も、できるだけ最近の様子が書き込んであるかもう一度確認させ、必要によっては記載させる。 ☆自分が普段生活に使っている部屋の家具の様子が書けていたか。 ○教師は、一人一人について、それぞれに支援する。 ○家具等の倒れる向きを考えさせるなど、自分や家族に家具や物が倒れたり落ちたりしてこないよう考えさせる。 ○ワークシートをもとに自分の考えたことを書き留め、班で話し合わせる。 ○各班の話し合いに随時参加し助言する。 ○気持ちのよいすっきりした整頓された部屋にするための片付け方についても考えさせる。 ○各班の代表に発表させるが、他の班の児童に意見を求めたり、教師が助言したりする。 ☆家具が地震の揺れで倒れる状況等を想像し、自分や家族の身を守る家具等の配置と固定、整頓された部屋について考えることができたか。
ま と め	3 自分の生活する部屋の整理整頓と家具の配置の安全・固定の方法について確認する。 ◇今日学習した自分や家族の身を守るための家具の配置と固定方法について、家の人に話しましょう。	○書き込んだワークシートと「家具の配置・固定の工夫」の資料を持ち帰らせ、家庭で考えてもらう材料とする。

関連する 教科・領域等	
協力団体	